

放課後等デイサービス 自己評価結果(公表)

公表:令和6年5月1日

事業所名 こどもランドなっつ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	60%	40%		活動内容によって狭く感じることもあるが、基準面積はクリアしており、概ね適正である
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	その日の予定利用者数や利用児の特性を考慮して、適切な人員を配置している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	20%	80%	パーティションを利用するなどプライバシーに配慮した支援を心がけている	トイレ内の手すり設置を検討したい オムツ交換時のスペース確保を行う
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	会議の際に確認している	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		例年こうした保護者評価以外に、「満足度調査」を実施しているが、令和5年度は実施しなかったため、今年度は実施するよう努めたい
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページで公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		今後の課題である
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	月1回の研修を心がけている	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	利用開始時には利用児と保護者との面談の中でニーズや課題の聴き取りを行い、計画に反映させている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	80%	20%	概ね実施できている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	月1回の会議で行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	活動内容の見直しなど定期的に話し合っている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	概ね実施できている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	概ね実施できている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	80%	20%		休日や長期休暇においては、送迎や利用児の見守り等により十分な打ち合わせ時間が取れない場合もあり、今後検討したい
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	60%	40%		送迎により一部の職員間での振り返りに終わることもあり、今後の課題として取り組んでいきたい
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	40%	60%		その日のうちに記録できていない場合があるが、支援翌日に記録をとっており、記録の徹底は心がけている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	半年ごとにモニタリングを実施し、必要に応じて計画の見直しを行っている	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100%	0%	概ね実施できている		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	管理者や児童発達支援管理責任者だけでなく、当該利用児の状況に詳しい者が参画している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	必要に応じて実施している	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	#####	#####		医療的ケアの必要な利用児はいない

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	必要に応じて実施している	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	必要に応じて実施している	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	60%	40%	必要に応じて実施している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%	0%	毎月1回他団体の「自然観察会」に参加しており、障がいのない子どもたちや大人と活動できる機会をもっている	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	80%	20%	必要に応じて実施している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時や電話等を通じて保護者との情報の交換や共有を行っている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	40%	60%		保護者との話し合いの中で相談を聴いたり、助言をすることはあるが、そうした支援と捉えて実施していることはない
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	利用開始時にきちんと対応している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	必要に応じて実施している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	60%	40%		コロナ禍により自粛しており、昨年から少しずつ保護者を招いてのイベントを開催するなど、保護者との連携を図ってきたが、今後は保護者会も計画していきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		ほとんど苦情はないものの、苦情があった場合は職員間で話し合い、迅速に対応したい
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	ご家庭に向けて毎月機関誌「なっつ&だんぼ&ゆめっこ通信」を発行したり、行事予定を配布している	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	概ね実施できている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	概ね実施できている	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		コロナ禍以降実施できていないので、今後は地域のボランティアの受け入れなどを検討していきたい
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		マニュアルについては保護者への周知はできておらず、ホームページを活用するなど、今後の課題として取り組んでいきたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年2回の消防・避難訓練を実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	会議の際に虐待防止に関する研修を行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	やむを得ず身体拘束を行う際はその要件等を確認の上、保護者への相談、同意書を得ることとしている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	現在食物アレルギーの利用児はいない	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハットはその都度記録しており、その情報は職員間で共有している		